

SICかわらばん

SIC、入居企業、地域企業 を結ぶ情報紙 — 地域版 —

発行日：2012年8月20日(月)

地域企業紹介 その 20
株式会社ユウキ工業

「多品種小ロット生産、 高い品質、超短納期」を武器に

中央区下九沢にある株式会社ユウキ工業の本社工場に北澤芳恵社長を訪ねました。広くて緑が美しいエントランスがとても印象的です。同社は長年、貸工場で操業していましたが念願だった自社工場を相模原市の産業集積促進条例(STEP50)の認定を受け、5年前に建設。北澤社長は従業員が誇りを持って、楽しく仕事ができるよう「工場らしくない工場、オシャレな工場」を造りたいと考えマンションを手がける建築デザイナーに設計を依頼したそうです。1階は機能的に加工装置が並ぶ工場、2階は対面式キッチンがある広く明るいダイニングルームとオフィス。従業員のことを大切にしている北澤社長の思いが表れている素敵な本社工場です。

ユウキ工業は結城会長が昭和61年に創業した小ロット生産や試作に特化した精密板金と溶接の会社。PSA高圧窒素発生器付NCレーザー加工機、YAGレーザー溶接機、NCパンチングプレスなど最新の加工装置を積極的に導入し、顧客の多様な要求に応えてきた。また、短納期の注文が多く、朝注文を受けてその日の夜に納品というケースも珍しくないそうだ。製造業の空洞化が進む昨今「高い品質と超短納期」に対応できる会社だけが国内で生き残れるのだろう。

北澤社長は学校で情報処理を学んだ後、西新宿にある企業でのOL生活を経て、父親が経営するユウキ工業に入社する。経理、製品検査、生産管理となんでもやったそうだ。情報処理を学んだ経験を生かし生産管理システムや三次元測定機の導入などに取組み入社10年目で社長に就任する。結城会長は「60歳で事業を継承したい」と考えていたようで60歳の誕生日の翌月に社長の座を長女である北澤社長に譲っている。(2面につづく)

株式会社ユウキ工業
代表取締役社長 北澤 芳恵
所在地：相模原市中央区下九沢1093-1
従業員数：26名 資本金：1,000万円
売上高：4億2千万円(平成23年度実績)
事業内容：試作及び量産の精密板金加工一式

経営者になって良かった事は:

OL時代には出会えないようないろいろな人に出会えたこと。たとえば、SIC経営塾で出会った講師の先生や経営者の方々など、経営者になっていなければ会う事も話すこともなかったと思う。これからも様々な人達と出会い、多くのことを学んでいきたい。

経営者としての苦労は:

11歳と5歳のお子さんを抱える北澤社長。頼りになる職場の部長やリーダーに支えられながら経営者と母親の二役をこな



している。帰宅しても仕事のことが頭から離れず育児と仕事どちらも中途半端になりはしないかと悩むそうだ。

ユウキ工業の未来は:

製造業は増々空洞化が進むと思うが「多品種小ロット生産、高い品質、超短納期」を武器に、国内で顧客層をもっと広げ、生き残っていくと決意を語る。

北澤社長と話をしている先日新聞で読んだ次のような記事の思い出した。「日本には大きな潜在成長力がある。それは女性の力だ。女性を主要7カ国と同じ労働参加率に引き上げるだけで、日本の生産力は25%増加する」最近来日したIMFの専務理事が日本経済の可能性についてこう語っている。

北澤社長のような女性の活躍が日本をもう一度元気にするのだと思った。

アイセム

ものづくりの技術進歩は材料表面の解析



アイセム (i-SEM Laboratory) は、慶應義塾大学で材料表面の解析研究を行ってきた清水健一博士が、大学の定年退官を機に、これまでに培った表面観察・分析の技術により、ものづくり企業の表面処理の技術力向上をサポートしたいと考え、SIC-3に入居・起業した。

清水氏は、東京都立大学大学院工学研究科博士課程を修了後、日本学術振興会奨励研究員、マンチェスター工科大学・The Royal Society 客員研究員、慶應義塾大学経済学部化学教室教授において、腐食・防食、ナノ表面分析及び電子顕微鏡の分野で研究活動を行うとともに企業の表面解析支援を行い、当該分野における第一人者である。

めっき皮膜などの様々な表面処理皮膜、半導体デバイス断面の迅速な観察法の確立は、日本の製造業が国際競争力を維持するうえで極めて重要な課題になっている。

このような中、アイセムは、めっき皮膜

など様々な表面処理皮膜、半導体デバイスなどの断面観察の分野において、次の事業を行っている。

- 超低加速・超高分解能走査電子顕微鏡と高周波グロー放電スパッタ法による迅速サンプル前処理法の普及 (セミナーや相談企業先での現地指導)
- 超ミクロトームによる断面試料作製及び技術指導。
- 新規電子顕微鏡試料作製装置の開発。

SIC-3は、ものづくり成長産業の集積を図り次世代産業をリーディングするイノベーションラボラトリーとして 2011年12月にオープンし、地域産業界の技術交流拠点として活動を開始している。「SIC 表面技術研究所」と連携しながら、入居企業・地域企業の技術課題を担って頂けるアイセムの存在は心強い。

既に入居企業が研究開発している材料の表面解析で課題を明らかにし研究の方向性の道筋を示すなどの事例も芽生えている。

「予想もしない縁が、予想もしない関係・進展に繋がる。小さな偶然が大きな展開に繋がる。自分が SIC-3 に存在することで、入居・地域企業の交流・発展に役に立ちたい。」と語る。

気さくな人柄で表面解析に関する多くのネットワークを有するアイセムが地域産業界の技術交流のハブとなることを期待したい。

【清水健一氏紹介】

工学博士、慶應義塾大学名誉教授、大阪市立大学客員教授。表面技術協会、腐食防食協会に所属。相模原市内に在住。

著書の紹介

SEMの新しい世界

A new world of scanning electron microscopy

(日刊工業新聞社、2008年8月発行)

材料表面の形態、組織を反映した鮮明な像を数十万倍の高倍率で容易に得ることができる電子顕微鏡の世界。本書は、工業的に重要な様々な部材や材料の鮮明・詳細な写真事例集で、材料評価や故障解析などに従事する現場の研究者にとって必携の書。本文は英文で記述しています。(出典:NikkanBookStore)

アイセム (i-SEM Laboratory) 代表 清水健一

〒252-0243 相模原市中央区上溝1880番2

TEL/FAX.042-746-5014

E-MAIL: shimizuk@ocn.keio.ac.jp

URL: さがみはら産業創造センターの入居企業紹介をご覧ください。

「女性の力」を引き出し、経営に活かす

マネジメントアドバイザー 古賀 千根

■一人が変われば、会社が変わる!

きっかけは、女性ばかりの職場である百貨店から男性の多い中小企業に転職したことでした。百貨店で、接客、電話対応、お客様に対する気遣い等は徹底的に叩き込まれ、それらのことは私にとっては当然のことでした。その後、男性ばかりの職場に転職したところ、お客様がいらっしゃった時の対応に気遣い・心配りがないことや電話対応の時の言葉使いが適切でないことに愕然としました。そんな中でも、自分なりに前職で学んだ接客やマナーを実践していると、自然と周囲の人が真似をするようになり、その影響が社内に広がっていったのです。「なんだか会社の雰囲気が変わった、上品になった。」と社外の方からお褒めの言葉を頂くようになりました。難しいことではない、女性が本来持っている柔らかさと気遣いを社内に取り入れるだけで、対外的な会社のイメージは向上する、そして、「一人が変われば、会社が変わる!」とその時実感しました。

■会社のイメージをアップさせるのは私たち

マネジメントアドバイザーとして活動する中で、日々、電話でアポイントを取り、多くの会社に訪問します。会社との最初の接点は「電話」であり、訪問時、実際にまずお会いするのは社長の前に応対して下さる「社員」です。第一印象の55%が視覚情報、38%が聴覚情報で決まると言われています。つまり、聴覚情報である「電話対応」と視覚情報である「接客対応」がとても重要で、「社員のイメージ」が「会社イメージ」に大きく影響します。にもかかわらず、残念ながら、その対応の教育をしておらず、なおざりになっているのを感じます。私自身の経験から、会社のイメージを女性である私たちが向上させることができると考えています。

■働く女性の本音に迫る

働く女性の本音に迫るべく、相模原市内の企業で働く女性にアンケートを取りました。89%の女性が「今の仕事に対して満足」しており、93%の女性が「これからも長く働きたい」と考えています。

また、長期的に働く中で、73%の女性が「チャンスがあれば、いろいろやってみたい」、「今の業務をより専門的にしたい」、「役職関係なくやりがい欲しい」という意見を持っています。経営者の方々には、これらの女性の意欲や想いを引き出して欲しい、女性社員の方々には、自分なりの役割、存在感を発揮し、やりがいを見出して欲しいという願いをこめて「女性力発揮セミナー」を企画しました。



■「女性視点」と「男性視点」を経営に活かす

仕事上のディスカッションで「女性視点」と「男性視点」はそれぞれ異なり、同じものを見ても捉える角度、感じるものが正反対の場面が多々あります。しかし、正解はなく、お互いの意見を尊重し、それぞれを補完しあえば、よりクオリティの高いアウトプットが出せることを何度も経験しました。経営も同じ。これまでの経営視点に女性の視点を活用することでさらに強い企業になると思います。経済環境が厳しい中、将来の発展を見据えると人材の育成は必須となってきます。今後、「女性の感性」はキーワードとなってき、女性が会社を変え、社会に変化をもたらす時が来ています。マネジメントアドバイザーとして、眠っている「女性の力」を目覚めさせ、企業発展の一端に寄与したいと思っています。

相模原の巨樹

相模原市緑区中沢に、高さが20メートルほどの樹齢600年以上と推定されているウラジロガシの巨樹があります。地上から高さ1.3メートルの幹回りが8.4メートルほどの日本一のウラジロガシです。近くの三島神社には推定樹齢400年、普門寺には、推定樹齢500年のスダジイの木もあります。普門寺には、相模原市内には数少ない18世紀中ごろの建立とされる密教本堂形式の観音堂があり、神奈川県下で最も古い歴史(1339年)の作例として県指定重要文化財に指定されている。鯛口(わにぐち)が保存されています。 ※非公開



スダジイ樹齢500年(普門寺)



ウラジロガシ樹齢600年



現在の鯛口(わにぐち)



女性リーダーとなるための基本スキルの習得を目指した、セミナーを開催します。

少子高齢化による人材不足が現実になる中、職場での女性活用は必須となっています。しかし、多くの中小企業では、女性の職場でのポジションは依然補助的なものとなっています。一方で、経営者へのアンケートでは95%の方が、「女性活用が業績向上につながる」と答えています。さがみはら産業創造センター(SIC)は、女性リーダーの育成をめざしています。その第一歩として『女性力発揮セミナー』を開催いたします。「キラキラ! イキイキ!」とした女性社員を育て、活力のある職場をつくりませんか。

時間帯 16:30～19:00 (講義:2時間・ティータイム:30分)

場所 さがみはら産業創造センター SIC-2 大会議室 定員 12名

お問い合わせ: TEL:042-770-9974 E-mail: hr-pr@sic-sagamihara.jp

さがみはら産業創造センター 地域産業界の人づくり支援事業 まで

■セミナー内容

■ベーシックコース

① 品格とは	9月6日(木)
② おもてなしマナー	9月20日(木)
③ かんたんメイク&ネイル	10月4日(木)
④ キラキラ! イキイキ! 私のアクションプラン	10月18日(木)
⑤ お食事会(実費)	10月18日(木)

受講料 8,000円(全4回) お茶・お菓子付き

■ミドルコース

① 全社視点学ぶ	11月1日(木)
② 発想力を磨く(1)	11月15日(木)
③ 発想力を磨く(2)	11月29日(木)
④ 発想力を磨く(3)	12月13日(木)
⑤ お食事会(実費)	12月13日(木)

受講料 12,000円(全4回) お茶・お菓子付き

詳しくは
WEBをご覧ください

SIC さがみはら 検索

ヘルスサイコロジー研究所 主催 定例セミナー 第3回

元気に楽しく働くための ポジティブ心理学

テーマ: 「強み」 ～自分の「強み」を活かそう!～

自分の心の「強み」、意識して活用していますか? 今回の定例セミナーでは、「強みテスト」を使ってあなたの「強み」を心理学的に測定。

これまでの経験に活かされてきたこと、そして、これからの課題に活かせることを整理して、ビジネスでも日常生活でも、あなたの「強み」をもっと発揮しませんか。

日時: 9月8日(土) 10:30～12:00 参加費: 無料

定員: 20名 場所: SIC3 3階 食堂

講師: (株) さがみはら産業創造センター

ヘルスサイコロジー研究所 研究員(鈴木・須永・土橋・今田)

9月～ SICイベントカレンダー

2012年9月～

2012年9月5日 第23回南西フォーラム

9月6日 女性力発揮セミナー開始

9月8日 元気に楽しく働くためのポジティブ心理学



入居企業を募集してます。

SIC 空室情報 (8月20日現在) SICまでお気軽にお問合せください。(賃料: 共益費込み)

部屋	空室数	賃料(月額)
SIC-1 セミラボ B	31.5㎡	1 93,975円
SIC-2 セミラボ	50.2㎡	1 164,850円
SIC-3	現在、空き室はありません	

今回は無料で
ご参加いただけます

ポジカフェ 同時開催

時間: 12:30～14:00 参加費: 300円

★セミナーの後は木のぬくもりある教室で、軽食を囲んで参加者同士交流しませんか? (ポジカフェのみの参加も歓迎!)



お問い合わせ: E-mail: psy@sic-sagamihara.jp にて
ヘルスサイコロジー研究所 担当: 今田 まで

編集後記

今回は、女性力が占める割合の多い第20号でしたが、少しずつ女性の登場が増えて来ることを願っています。さて、熱帯夜が続いたり、TVでロンドンオリンピックの観戦をしたりと、寝不足で風邪をひいたり体調を崩してはいませんか?

次は、パラリンピックですが、8時間の時差をよ〜く考えて、スポーツの秋、食欲の秋、読書の秋、芸術の秋etc.に向け、体調を万全にしておきましょう!



★ご意見・ご感想をお待ちしています。

(株)さがみはら産業創造センター(SIC) 〒252-0131 相模原市緑区西橋本5-4-21
電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077 E-mail: koho@sic-sagamihara.jp

ウェブサイト <http://www.sic-sagamihara.jp/>